

検討項目	発注機関	工事名	路河川名	住所・工区	業務内容	課題・現場条件等	三者協議での意見、検討事項と対応方法
ⅡⅢ	大分土木事務所	交付地改大委 第1－6号設計委託	田野庄内線 （南園工区）	由布市 庄内町野畑	橋梁詳細設計（新夜見渡橋） PC単純橋・ステーション方式T桁橋 橋L=39m 1径間 逆T橋台（直接基礎・深礎杭）	水路およびトンネル抗口が近接し、施工ヤードが不足（仮設構台） 重機等資機材の搬入 桁架設ヤードの不足 水路近接 現道交通への影響	○改善事項 ・A1橋台の施工時に工事車輛の転回場や待機スペースが明記されていない → 施工ステップ図に活用できる平場や転回場を明記した ・A1橋台の工食用道路が急勾配（15%）だが敷砂利となっている → コンクリート舗装に変更した ・A2橋台深礎工の人力掘削において、ボーリング結果や岩の露頭の状況から掘削が困難と思われる → 人力岩掘削には火薬類の使用が標準となっているが、現場説明書に岩質等の条件を明示 ○確認事項 ・河川区域等を確認すること → 河川砂防区域を確認した。発注前に必要な協議、申請手続きを行う（A1/A2橋台：砂防区域に影響あり、上部工：河川・砂防区域に影響あり） ・A1橋台床掘時の雨水排水や濁水処理について、漁協と調整すること → 事前に漁協と調整 ・立木の伐採あり → 現場説明書に明記し、見積もりを徴収し設計計上する
I	中津土木事務所	交防加総河委 第219－3号設計委託 （河改単中委第100号設計委託）	金吉川	中津市耶馬溪町 大字金吉	河川護岸設計L=465m （市道橋梁架け替え L=26.6m）	河道拡幅 仮締め切り等作業時影響あり 橋梁架け替えあり	○改善事項 ・25tクレーン施工の作業半径の確認（根固ブロック撤去設置） → クレーンの配置と工食用道路を見直し、河川内でのバックホ作業を追加した ・護岸背面からのバックホ作業では一部施工困難（基礎部掘削・地盤改良） → 河川内作業とし、それに伴う工食用道路を見直し ・非出水期内での施工量を踏まえた工程を検討 → 非出水期施工の工程表を作成し、4か年で計画 ○確認事項 ・車輛の転回場や作業ヤードの確保 → 転回や作業ヤード、アトリガー張出しを考慮し、工食用道路幅員を確保 ・根固めブロックのストックヤードを確保 → 施工計画図に明示 ・0k300付近に架空線あり → 架空線位置を施工計画図に明示 ・プレキャスト基礎の活用を検討 → 工期短縮効果も踏まえて活用を検討 ・汚濁防止対策が必要（漁協なし） → 汚濁防止フェンスを追加し、当初設計から計上
IⅣ	豊後高田土木事務所	交付地改高委 第1－4号設計委託	豊後高田安岐線 （三宮工区）	豊後高田市 田染上野	大型ブロック積擁壁詳細設計 L=150m	現道交通への影響 仮締め切り 工食用道路等作業時の影響 （長大法面）	○改善事項 ・工事車輛の軌跡を考慮した工食用道路を計画すること → 軌跡を確認し、隅切りを追加した ・工事車輛が転回する場所が無く、作業ヤードも無い → 転回場と作業ヤードを計画した ・非出水期内での施工を踏まえた発注・仮設計画を検討すること → 工事期間を踏まえ、2期工事に分割 ・河川内に巨石が多く、施工時に破碎が必要となる可能性がある → 施工時に寄石でさず転石破碎が必要な場合は、変更の対象となる旨を現場説明書に明示する ・切土施工時に現道への落石が懸念される → 大型土嚢、仮設防護柵による落石対策を検討した ○確認事項 ・工食用道路の勾配を確認し、舗装を検討 → 勾配を確認し、敷砂利とした（最急勾配8%） ・クレーンのアトリガーが最小張り出しとなっており、作業半径に留意が必要 → 最小半径での施工を確認し、施工計画図面に明示 ・護岸基礎の施工時に、地下水・伏流水の影響 → 水替えポンプ（作業時排水）を設計計上 ・2期施工分の盛土のストックヤードの確保が必要 → スtockヤードの確保や事業間流用も含めて調整 ・一般車輛と重機の接触防止が必要 → 必要な安全対策を講じるよう現場説明書に明示 ・プレキャスト基礎の活用を検討 → 成果品の申し送り事項に記載し、活用を検討 ・漁協、利水者との調整や汚濁防止対策を検討 → 事前に調整し、汚濁防止フェンスを設計計上 ・架空線、地下埋設物があり、事前調整をすること → 事前に調整のうえ、現場説明書にも明記 ・立木の伐採あり → 発注時に見積もり徴収し設計計上する
IⅣ	豊後大野土木事務所	交付地改野委 第6－4号設計委託	三重弥生線 （松尾3工区）	豊後大野市 三重町松尾	構造物設計（道路） 道路拡幅に伴う河川護岸の設計	現道交通の影響あり ⇒一部対岸から施工検討 河道掘削 仮締め切り等作業時の影響	○改善事項 ・背後地施工としているが、床掘は重機が届かないため、河川内作業が必要 → 背後地施工の施工図面にフロー図と留意事項を追加で明示（必要に応じて河川内BH作業とする） ・大型ブロックは河川内から25tクレーンでの施工としているが、実施工に合わせた機種を選定すること → 河川内と背後地からのクレーン施工を想定し、仮設図に作業半径を追加明示（機種選定は施工時対応） ・クレーンのアトリガーが中間張り出しとなり、作業半径を考慮すること → 作業半径を確認し、図面に明示した ○確認事項 ・0.5m ³ ブロックの使用を検討 → 施工期間等で制約がある場合は、実施段階で採用を検討する ・水替えポンプを常時排水とする → 作業時排水とするが、必要に応じて常時排水を検討する ・濁水処理・漁協協議 → 漁協と事前協議、必要に応じて、汚濁防止対策を実施